



OSAKA Titanium technologies Co.,Ltd.



2025年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 川 福 純 司  
(コード番号: 5726 東証プライム)  
問合せ先 総 務 人 事 部 長 北 村 尚 久  
(T E L. 06-6413-9911)

## 2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異

## 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年8月7日に公表いたしました 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績等の動向を踏まえ 2026年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)(2025年4月1日～2025年9月30日) 業績予想値と実績値の差異

|                                    | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 中間純利益        | 1株当たり中間純利益   |
|------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 前回発表予想 (A)                         | 百万円<br>26,000 | 百万円<br>2,500 | 百万円<br>2,000 | 百万円<br>1,300 | 円 錢<br>35 33 |
| 第2四半期(中間期)実績 (B)                   | 26,924        | 4,026        | 4,200        | 2,515        | 68 35        |
| 増減額 (B-A)                          | 924           | 1,526        | 2,200        | 1,215        | —            |
| 増減率 (%)                            | 3.6           | 61.0         | 110.0        | 93.5         | —            |
| (ご参考) 前期第2四半期実績<br>(2025年3月期第2四半期) | 26,224        | 6,276        | 5,019        | 3,523        | 95 75        |

## 2. 2026年3月期通期(2025年4月1日～2026年3月31日) 業績予想数値の修正

|                          | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 当期純利益        | 1株当たり当期純利益   |
|--------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 前回発表予想 (A)               | 百万円<br>52,000 | 百万円<br>4,500 | 百万円<br>4,200 | 百万円<br>2,000 | 円 錢<br>54 35 |
| 今回修正予想 (B)               | 49,000        | 5,000        | 4,800        | 2,200        | 59 79        |
| 増減額 (B-A)                | △3,000        | 500          | 600          | 200          | —            |
| 増減率 (%)                  | △5.8          | 11.1         | 14.3         | 10.0         | —            |
| (ご参考) 前期実績<br>(2025年3月期) | 51,914        | 10,088       | 9,076        | 7,090        | 192 69       |

### 3. 差異及び業績予想修正の理由

当第2四半期(中間期)の売上高につきましては、概ね前回予想通りとなりました。

営業利益、経常利益、中間純利益につきましては、海上輸送価格の軟化や一部費用が下期へ後ろ倒しになったことに加え、為替相場が円安基調で推移したことにより前回予想値に対し増益となりました。

2026年3月期の通期業績予想につきましては、売上高につきましては、民間航空機サプライチェーン内における在庫調整の影響を予想に織り込んだことにより減収となりました。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、上記在庫調整や上期から下期への費用後ろ倒しの影響はあるものの、上期実績の効果により、前回予想値に対し増益となる見通しであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上